

# 議員研修 レポート

12月1日(木)、隠岐島町村議会議長会主催の議員研修が行われ、隠岐島4町村から議員及び事務局職員約50名が参加した。

場所は、隠岐の島町の旧五箇村久見地区にできた「久見竹島歴史館」で、テーマも竹島問題。

講師に西郷中学校校長の常角敏氏を迎え、「竹島学習この10年」と題して講演していただいた。

平成17年3月に島根県議会「竹島の日を定める条例」が制定されたのを受け、隠岐の島町では平成18年に副教材を作り、ふるさと教育の一環で竹島学習を行ってきたとのことであった。

子どもたちに教えるにあたって留意したことは、まず主権の意義を踏まえたいうえで、①歴史的事実をしっかりと押さえること、②感情論での

議論にしないこと、③武力行使論を認めないこと、などで、条例制定当時の反対運動がマスコミで大々的に取り上げられたこともあり、最初は怖い問題と思っていた子どもたちだったが、学習を10年積み重ねる中で、今では「共に国際社会の一員である」という視点で、日本と韓国はどうあるべきか、を考えることができるようになった」と述べていた。



また、同じ領土問題ということで、島根県の子どもたちは、北方領土の現地視察のた

め北海道の根室市や羅臼町を何回か訪れているということであった。(島後だけでなく、島前の子も参加している)

常角氏は、今後は「平和的解決は我が国の誇りだ」との基本的姿勢で、①国民世論を高めて政府を後押しすること、②国際社会にもっとアピールすること、③若者の交流や情報交換が必要、との認識を示していたが、韓国の竹島教育は、あつた歴史ではなくあるべき歴史、というスタンスで行われており、反日教育による壁をどう崩していくかが大きな課題だと述べていた。



## 活動日誌

10月

有人国境離島特別措置法  
国会議員との意見交換会

11月

財政援助団体監査  
食の感謝祭  
地方議会活性化シンポジウム  
離島振興市町村議会議長会  
全国大会及び役員会  
町村議会議長会全国大会  
例月現金出納検査  
島前町村組合指定管理者  
選定委員会  
正副議長委員長研修会  
産業文化祭  
隠岐広域連合常任委員会  
福岡市視察研修

12月

隠岐島町村議会議員研修  
けいしよ保育園  
生活発表会  
島前町村組合議会定例会  
島前高校魅力化の会  
全員協議会  
議会運営委員会  
例月現金出納検査  
定期監査・財政援助団体  
監査報告会  
海士町議会12月定例会  
隠岐広域連合議会定例会

## 編集後記

第22回目となる、年末恒例の京都清水寺での日本の漢字一文字に、今年は「金」が選ばれた。

リオ五輪の金メダル、知事の金銭疑惑、マイナス金利、予想外の金髪次期大統領の誕生と、話題に事欠かない一年であった。

山陰両県では全国で4位の「震」が一位となり、10月の鳥取地震の余震は大きい。

振り返って今年の我が家は、年末の緊急事態で「介」。年明けは「健」に期待するところ大である。

安寧な一年を送ることができるよう、地道な努力を怠ることなく過ごしたいものだ。

(松田修一記)



# 議会だより



## 年頭のごあいさつ

議長 亀谷 潔

新年あけましておめでとう  
ございます。町民の皆様にお  
かれましては、海士町議会に  
対し、平素より格別なるご理  
解とご協力を賜り、厚くお礼  
申し上げます。

さて昨年 4 月、有人国境離  
島特別措置法が 10 年の時限立  
法として制定されました。

領海や排他的経済水域を守  
り、我が国の安全や海洋資源  
を確保するためには、国境域  
の離島に人が住み続けなけれ  
ばならない、そのために国が責  
任を持つて施策を講じること  
を明記した法律です。

イギリスの EU 離脱問題や  
アメリカのトランプ大統領就  
任など、世界の政治情勢が激  
変する予感の中、アジアの国際  
秩序の籠(なご)が緩み、日本が好む  
と好まざるとにかかわらず、

他国との間で国境をめぐる軌  
轢(レキ)が強まる懸念があります。

平成 27 年の国勢調査では、  
海士町は 5 年前に比べ人口は  
減少しましたが、それは僅か  
0・9%に止まり、島根県の  
中で唯一人口の増えた出雲市  
に続き、2 番目の人口維持自  
治体となりました。

このことは、海士町の各層  
が一体となつて努力した成果  
ですが、一方で、定住人口の  
増加は非常に高いハードルだ  
ということも示しています。  
そこで交流人口の増加により、  
島の持続可能性を探ることも  
考えてみる必要があります。

本籍のある方や出身者など  
海士町と縁のある方、ふるさ  
と納税をさせていただく方、島  
前高校の卒業生、もつと広い  
意味での海士町ファンなどと

交流を深め、海士町を応援し  
てもらう。有人国境離島特別  
措置法では離島航路の運賃  
の低廉化が謳(うた)われています  
が、そうした交流人口の増加  
のためには、隠岐汽船運賃が  
JR 並みに下げられること、  
そしてその運賃が、島民にと  
どまらず海士町を訪れる全  
ての人に適用されることが  
是非とも必要だと思えます。

人口減少社会に突入した  
日本においては、人口競争に  
負ける自治体が増えること  
は、荒廃する国土が増えるこ  
とであり、国全体としては決  
して歓迎できない状況です。

インターネットが発達し  
た今、住んでいなくても色々  
な形で海士町を応援してく  
れる、仮想海士町民はどんど  
ん増やすことができます。氷  
山に例えるならば、海面に顔  
を出した定住人口、そしてそ  
れを支えるより大きな海中  
の交流人口、その両方を増や  
すべく、行政と議会が車の両  
輪の如くになって、引き続き  
努めてまいります。

## 謹賀新年

本年もよろしく

お願い申し上げます。



【後列左から】 扇谷光恵 古濱正之 上田正子 柏原広行 杵築泰久  
【前列左から】 中村等光 波多紀昭 亀谷 潔 松田修一 高松照佳